

人生を輝かせる山登りのススメ(第38回)

夏に楽しむ冬のニュージーランド・トレッキング

2018.08.31



ニュージーランドのマウント・クックは、日本の7～8月に冬を迎える

今年は連日の猛暑で、今までにない厳しい夏でした。そんな中、暑い日本を飛び出して行ったのが、季節が真逆のニュージーランドです。日本の8月、南半球のニュージーランドは冬を迎えていて、日本では体験できない貴重な自然を楽しんできました。今回は季節のギャップが楽しいニュージーランドでのトレッキングをレポートしたいと思います。

真冬もトレッキングが楽しめるマウント・クック国立公園

ニュージーランドで夏のトレッキングといえば、11～2月がハイシーズンに当たります。この時期、山にはマウント・クック・リリーやマウンテン・デイジーが咲き、壮大なサザンアルプスの展望が楽しめることで人気があります。しかし、ニュージーランドの冬(日本ではまさに今の時期)もトレッキングが楽しめることはほとんど知られていません。

7～8月、南島の南側は雪と厳しい気象のために、ルートバーン・トラックやミルフォード・トラックといったトレッキングルートは閉鎖されています。けれども、島の中ほどにある降雪量が少ないマウント・クック国立公園は冬でもトレッキングを楽しめるのです。

マウント・クック(標高3724m)は富士山より少し低いですが、氷河に覆われ、岩壁が露出していることから登るのが非常に難しい山です。その山を間近に見られるのが「フッカー・ヴァレー・トラック」というトレッキングコースです。フッカー氷河湖まで、片道約5kmのコースを3時間ぐらいかけて往復します。



フッカー・ヴァレー・トレッキングは冬でも雪が少なく、ハイキングが可能。写真ではコース上に雪はないが、通常は薄すらと積雪していることが多い

3つのつり橋を渡りながらフッカー谷を上部へ向かいます。このときはまったく積雪がありませんでした。また、積雪があっても傾斜が緩やかな道なので、同行してもらったガイドによると、雪山に慣れていない人でもガイド同伴でスノー・トレッキングが楽しめるそうです。

歩いて行くとだんだんマウント・クックが近づき、左右の山も大迫力で迫ってきます。特にマウント・セフトンという山の岩壁に乗った懸垂氷河が、吸い込まれそうなほど深いブルーで輝いていました。冬は新雪に覆われているため、夏より山が白くて美しい景色が見られます。

湖に浮かぶ氷河を眺める… 続きを読む